

8月SDGsパートナーミーティング（フードドライブ）



フードバンクかながわ 報告資料

「もったいない」を 「分かち合い」～ 「ありがとう」へ

2023年8月21日

公益社団法人フードバンクかながわ
事務局長 藤田 誠



ホームページ

<https://www.fb-kanagawa.com>



フードバンクかながわの設立目的 (モットー・キーワード)

「もったいない」を

《食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす》

「分かち合い」~

《フードバンクを通じて、地域のたすけあい・支え合いを実現》

「ありがとう」へ

《生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の
食のセーフティーネットをめざす》

フードバンクかながわのしくみ

イメージ図



食品企業等

運搬



行政・企業等

運搬



家庭・個人の食品寄付
(フードドライブ)



運搬



食品の
回収拠点へ



お店・生協店舗・スーパー
(フードドライブ)
食品の回収拠点



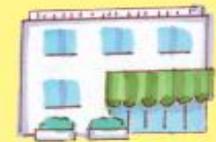
Food Bank
Kanagawa



社協・市役所



施設等



地域のフードバンク
フードパントリー

食品が
必要な方々



食支援団体(子ども食堂等)

← 食品 ← 受取

フードバンクかながわは、運搬車両を持たないため、利用者は、中継拠点まで受け取りが必要

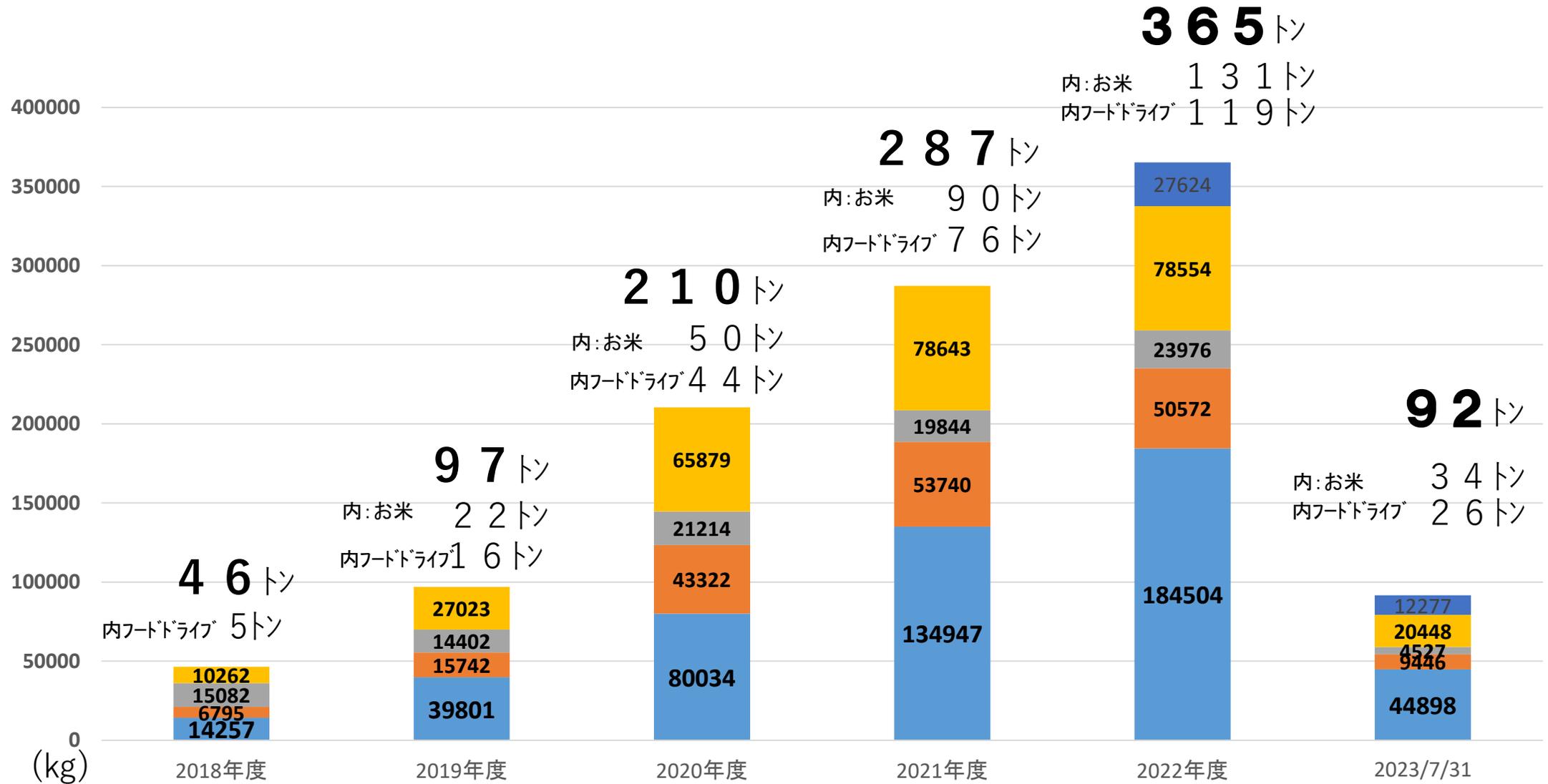


フードバンクかながわの現状

2023年7月31日現在

- 正会員 12団体 (306口:1口5万円)
- 賛助会員入会状況
 - (1) 団体会員 220団体 (710口:1口1万円)
 - (2) 個人会員 312名 (1,817口:1口千円)
- 寄付金 6,439,607円(累計84,254,183円)
- 合意書締結状況
 - (1) 食品寄贈事業者 275社(団体)
 - (2) 食品受取(行政・社協) 62団体
 - (3) 食品受取団体 281団体
- フードドライブ実施状況(2022年度) 178団体 531名(直送)

2018-2022年度食品寄贈重量(中分類別)



■ 主食・麺類 ■ 副食・調味料 ■ 菓子・嗜好品 ■ 飲料・その他 ■ 冷凍食品・パン・野菜

※その他 = ベビーフード、栄養補助食品、家庭用品など

日本の食品ロスの状況（令和2年度）

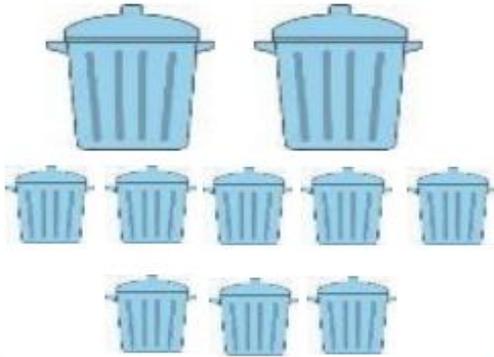
日本の「食品ロス量」

約522万トン



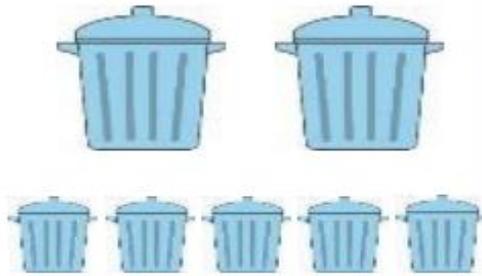
事業系

約275万トン



家庭系

約247万トン



神奈川県の商品ロス量

事業系

約27万トン

家庭系

約21万トン

国民1人当たり食品ロス量

1日 約113g

※ 茶碗約1杯（約150g）のご飯の量に近い量

年間 約41kg

※ 年間1人当たりの米の消費量（約53kg）に近い量



資料：総務省人口推計(2020年10月1日)
令和元年度食料需給表（確定値）

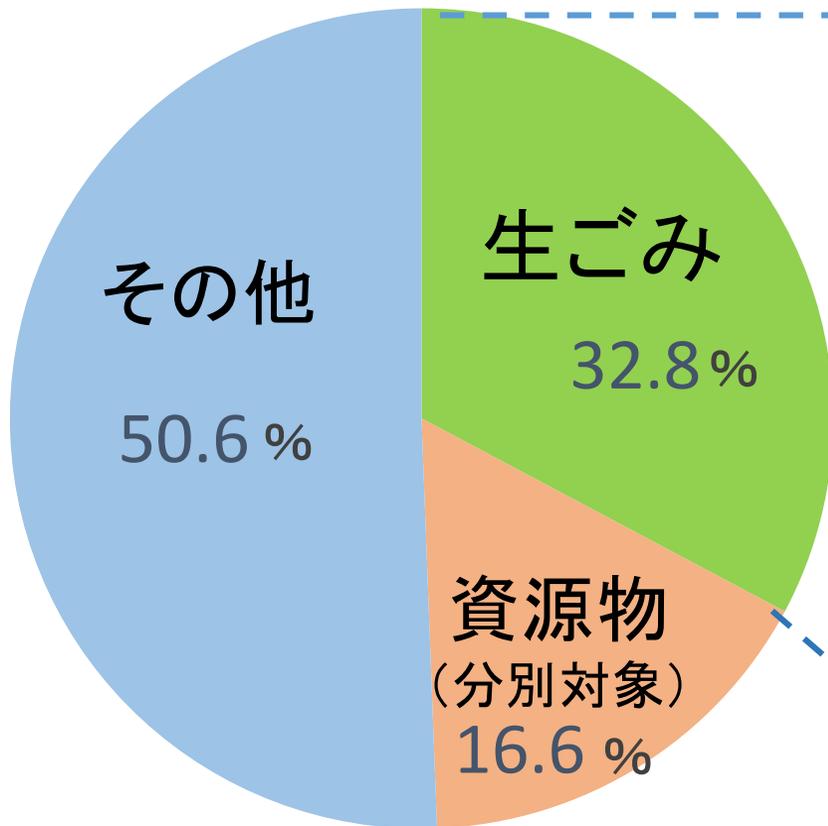
神奈川県内の家庭から出される食品ロス(2019年)

食品ロス発生量 = 211,000トン/年 (事業系: 277,000トン/2018年)

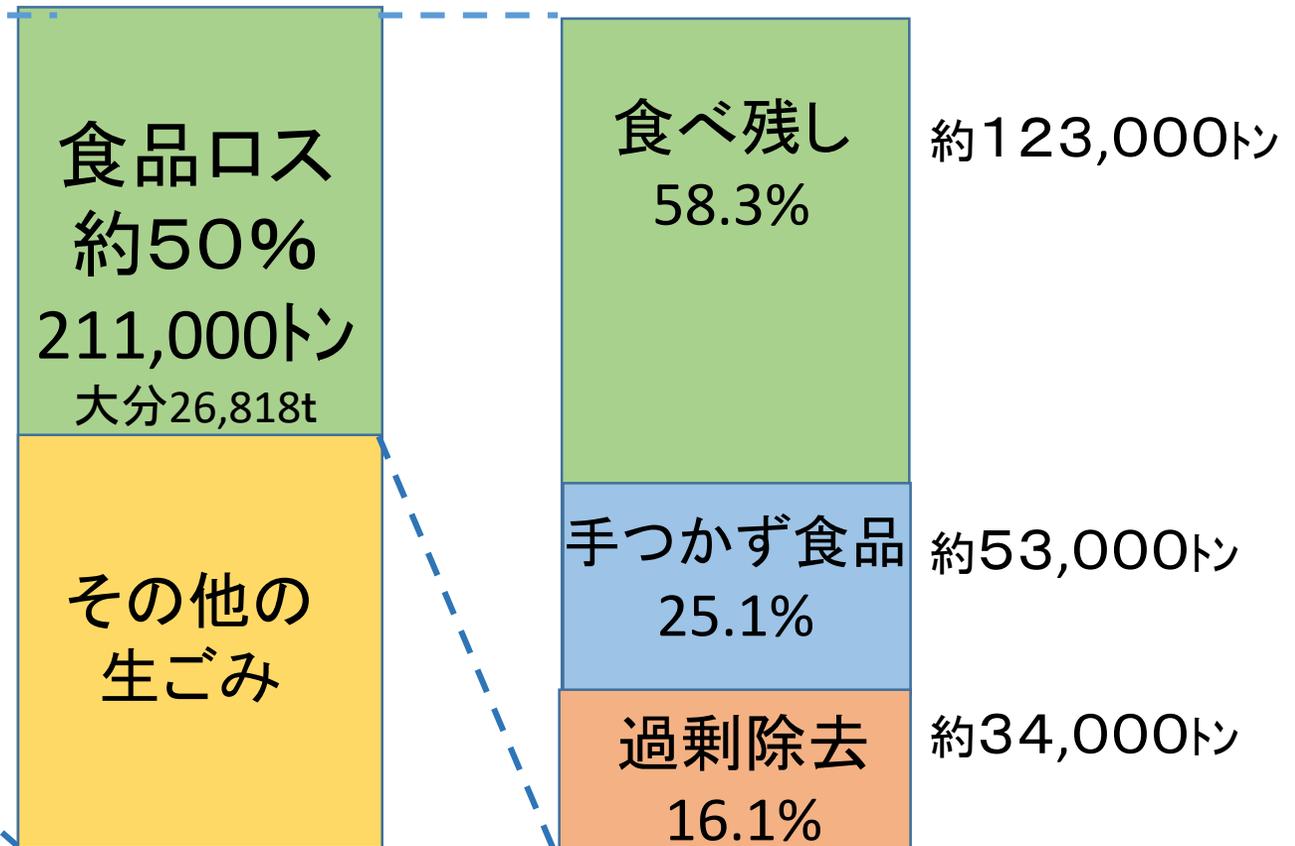
◆ 処理費用約84億8600万円 (1t当たり40217円)

◆ 温室効果ガス排出量(CO2) = 約53,592トン (1t当たり243.6kg)

燃やすごみの組成調査結果(2019年)



食品ロスの種類と発生量(2019年度推計)

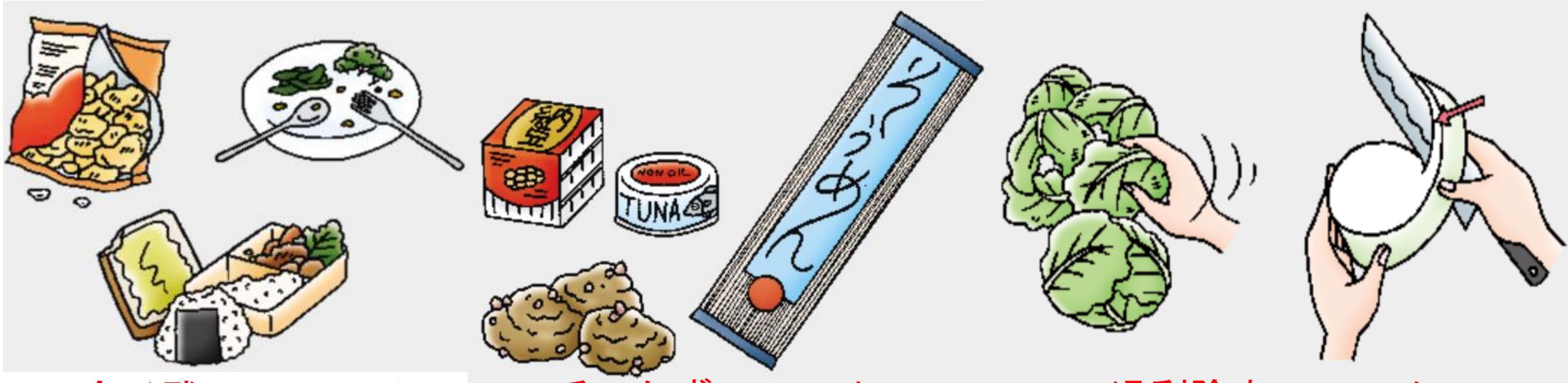


神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

神奈川県内の家庭系食品ロスの焼却費用・CO2排出量

◆処理費用約84億8600万円(1t当たり40217円)

◆温室効果ガス排出量(CO2) = 約51,400トン(1t当たり243.6kg)



食べ残し 123,000トン

・作りすぎ・買い過ぎ・好き嫌い・
ちよつと残し等

◆処理費 = 49.5億円/年

●CO2 = 31,083トン

手つかず 53,000トン

調理されず、何も手がつけら
れずに廃棄される食品

◆処理費 = 21.3億円/年

●CO2 = 12,911トン

過剰除去 34,000トン

野菜や果物の皮を厚くむきす
ぎたり、取り除きすぎたもの

◆処理費 = 13.7億円/年

●CO2 = 8,282トン

ご家庭に眠る食品をお寄せいただき フードドライブにご協力ください。

フードドライブとは、ご家庭に眠る食品をご提供いただき、フードバンクを通じて支援が必要な方々に届ける活動で食品ロス削減にもつながります。

ご寄贈できる食品

- ・常温で保存できるもの
- ・開封されていないもの
- ・賞味期限が明示され、残り2か月以上あるもの
(米、砂糖、塩、化学調味料・ガムなど期限表示義務のないものは表示がなくてもOK)

ご寄贈できない食品

- ・アルコール類(ノンアルコールビール等含む)
- ・生鮮食品、冷凍・冷蔵食品
- ・包装が破れているもの、賞味期限の記載のないもの等



喜ばれる食品

- ・お米(前年度産迄で1合でも可)
- ・麺類(そうめん、パスタなど)
- ・カップ麺
- ・缶詰、レトルト食品等
おかずになるもの
- ・調味料・食用油など
- ・お菓子・粉ミルク・フルーツ缶など

2022年度フードドライブ実績

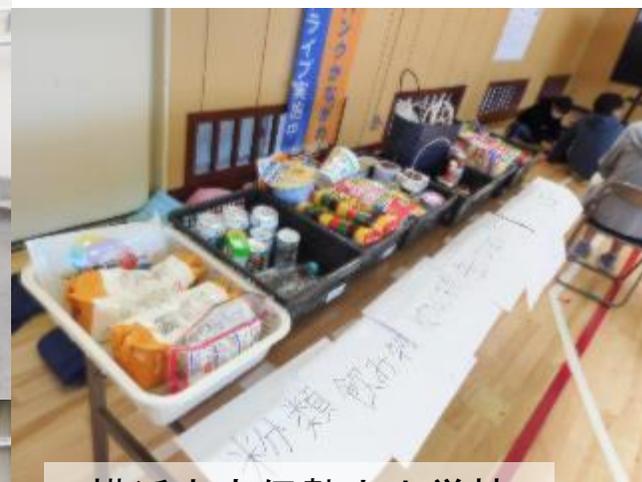
※2023.3.31までに 点検・仕分終了分

ユーコープ 78店舗	13560kg
パルシステム神奈川	19892kg
生活クラブ生協	4339kg
その他生協(福祉クラブ・ナチュラルコ-op・うらがCO-OP)	1573kg
労働関係	9973kg
JA関係	2920kg
神奈川県	1445kg
横浜市(栄区・港南役所)	1151kg
横須賀市	523kg
社会福祉協議会	1189kg
イトーヨーカドー31店舗	22896kg
そうてつローゼン17店舗	8763kg
イオン2店舗	541kg
無印良品30店舗	6919kg
その他小売(伊勢丹、高島屋、そごう、岡田屋)	356kg
中栄信用金庫	2447kg
小・中・高・大学生	1877kg
その他の団体・企業	12962kg
個人(持込・直送531名分)	6013kg

合計: 119,480kg



相模原市立淵野辺小学校



横浜市立伊勢山小学校



イトーヨーカドーたまプラーザ店



ユーコープ店舗(358箱)

https://youtu.be/PY7JQek9eJU?utm_source=group_pr&utm_medium=d_pr&utm_campaign=stst_F&utm_content=2306

ひろがるフードドライブ

回収拠点300カ所を超える



横浜市立大学Table for Two



神奈川県庁(2回目)



YSCC(サッカーJ3)



神奈川県弁護士会



WE21ジャパンさかえ



中栄信用金庫



JA神奈川県中央会



東京サラヤ(株)



(株)伊達建設



明治安田生命



横浜YMCA



高野山真言宗青年教師会



韓国の労働組合よりマスク



社福いきいき福祉会



リュウカンパニーからは
手作りのクリスマスセット



Micronメモリージャパン



JA横浜たすけ愛チーム



たすけあいゆいへお渡し



無印良品港南台バース店



満福うえのまち子ども食堂へお渡し



そうてつローゼン



2023.4.29 第94回かながわ中央メーデー会場（臨港パーク）



山中竹春横浜市長



黒岩祐治神奈川県知事

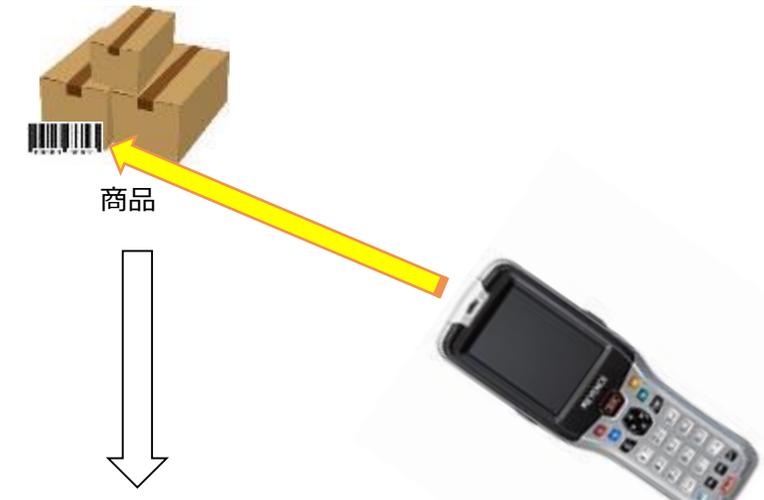


福島瑞穂社民党首



入 出 庫 処 理 の 流 れ (トレーサビリティ確保のために)

入庫



入庫処理

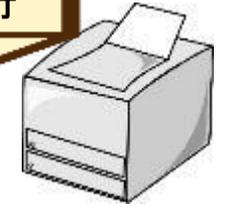
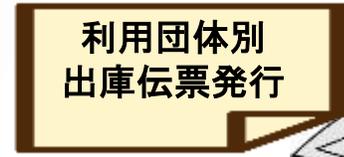
1. ハンディで商品バーコード、消味期限をスキャンし、数量を入力
2. カイゼンヘデータを送信、プリンタよりロット番号ラベル発行
3. 商品へロット番号ラベルを貼り付け入庫
4. 商品マスタに未登録の場合、後追いでマスタ登録を行う



QRコードラベル発行



出庫



出庫処理

1. ハンディでロット番号ラベルのバーコードをスキャン、出庫数量を入力
2. カイゼンとロット番号・出庫数量をチェックし、チェックOKの場合、利用団体別の出庫伝票を発行 (PDF⇒メール添付送付)
3. ◆利用団体は、FB倉庫受取時に 出庫伝票に受取サイン
◆「中継拠点」では、受取 (入館) 証明書とする⇒団体保管場所にて検品後、受取サインし、フードバンクへFAX又はメール送信

コロナ禍での市民の食品支援活動

(1) こども食堂・子ども支援団体

パート・アルバイトの職場が失われ、食品支援の必要な家庭が増加。子どもは休校で行き場所を失う、欠食という状況が想定されたが、公共施設の調理室が使えず、密を避ける、ボランティアの不安もあり、混乱した。子ども支援団体では休校による生活の乱れ、親子のストレス、虐待リスク、食事が十分とれているか。

コロナ禍でのこども食堂

フードバンクかながわからの
提供量4-7月の比較



フードバンクかながわ
に登録する子ども/地域食堂は86団
体。実利用は約55団体。食堂や弁当
提供で頑張っている食堂もあるが、公共
施設の閉鎖等で食堂からフードパント
リ（食品提供）に移行。4-7月は前年
の4倍量になった。
21年1月は活動を自粛する団体が多
く量も減少。

2020年	3月	4月	5月
食堂	1	1	2
食品提供	12	18	18
弁当	4	5	5
休止	5	3	7
他・不明	18	12	11
合計	40	39	39



よこすかながや
(横須賀市)



NPO法人ちゃっと
寄り添い型生活支援事業
(保土ヶ谷区)



キッズカフェ杉田
(金沢区)



にのみやこども食堂便 (二宮町)

(2) ひとり親家庭支援

横浜市(こども青少年局) = ぱくサポ

(ひとり親世帯サポート事業食品提供会)

横浜市は横浜市母子寡婦福祉会に委託し、市内在住の一人親家庭(約3万世帯)を対象に2020年7月より食支援(ぱくサポ)を開始。

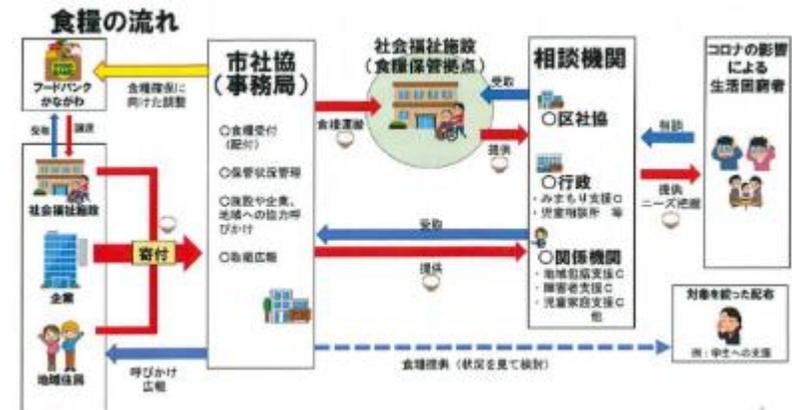
横浜市の18区を巡回し、毎週4~6カ所の地区センター等で食品を提供している(各回60世帯まで)

横浜市社協

「ヨコ寄付」200万円目標活用
新型コロナウイルス感染症対策の影響等により食べる事に困っているひとり親家庭の子どもを支える取り組み。子どものいるひとり親世帯で食の支援が必要な方へ、7日分程度の食品と支援機関パンフレット等を、宅配によりお届け。

川崎市社協(食糧支援かわさき)

支援機関がかかわっているコロナにより食支援を必要な人
関係機関から提供



(3) 外国籍の支援 団体

NPO法人ブラジルsolidário横浜は、ブラジルから日本に来ている労働者が雇い止めにあい、明日の食事にも事欠く人が多いことへの支援体制を急遽つくった。母国に帰るに帰られず、仕事も打ち切られている方が本当に多く、どこに助けを求めて良いのか困惑している。食事提供、食品提供。

(4) DV被害支援団体

DV支援センター/ラフリーチエ2019年

- ①DV・虐待で苦しむ女性と子ども達の相談支援・救済支援
- ②DV・虐待被害者および母子家庭等貧困世帯の子ども達への居場所支援・教育支援・食事提供支援

行政の食支援に行ったら「児童扶養手当の証明を見せてと言われた。事情を説明したら、別居中は夫から生活費をもらうべきと言われ支援してもらえなかった」というケースも聞いた。

支援が少なく、偏見が多い。相談・食事提供・食品提供。

生活保護を受けずに生活している人のほうが困窮している例もある。食品配布は月1回だが、それ以外にも困っている人には届けたりしている。

やっぱり食支援が一番欲しい という声 ⇒ 2020年7月から無料食品頒布会
月1回 先着20名



フードバンクかながわ倉庫まで引取りにみえた鈴木アウレリオさん
日本のブラジルといわれる群馬県大泉町まで運びます

女性のための支援

(食品配布会から生み出す支援)

NPO法人DV対策センター 穂志乃 愛莉

(5) 学生支援

入学はしたものの、友だちもなく実家にも帰れない、アルバイトもないという状況に置かれ、学校には入れず、授業はwebだが、web環境もが整わない学生がいた。学生は住民票を移していない場合が多く、支援対象外となる可能性が心配された（横須賀市福祉部）。

5月になり横須賀市、横浜市社会福祉協議会で支援が始まった。その後相模原市が継続支援し、現在では横浜市立大学が、社協やフードバンク、地域との連携により、支援を継続している。

学生が学生の支援する活動 かながわ学生ボランティア連合

配送費の助成金を取り、留学生などに食品を送る活動と、合せて社協の協力を得てフードドライブを実施し、フードバンクかながわにも寄贈。

8月8日(日) 9時半~11時半
 選手文化プラザさざなみホール
 かながわ学生ボランティア連合

フードバンク応援企画

食料をご寄付 くださいの会

ご自宅にある食料 長期保存ができるもの
 お歳暮などの贈答品
 ご自宅や会社の防災備蓄品 など
 賞味期限内の食料のご寄付をお願いいたします。
 当日会場にご持参ください。
 全て2か所のフードバンクにもって行き、必要な方に配布されます。



「かながわ学生ボランティア連合」は、神奈川県内各大学の学生によるボランティアグループです。現在11大学の学生に所属している学生に約2,000名が参加し、毎月食料を会場に届けるサポート活動を行っています。その食料を専断いただく「フードバンクかながわ」は「関東甲信越フードバンク」です。食料が大量不足している状況が続きました。併設、食料をいただいている2つの「フードバンク」にご依頼をしたいと思います。食料ご寄付の企画を考えました。選手文化プラザさざなみホールにて、2つの「フードバンク」に食料を持っていきます。ご寄付いただいた食料は、協議のサポート活動や、様々な支援活動に役立てられ、必要な方に配布されます。

主催 かながわ学生ボランティア連合 問合せ kanagawa-student@protonmail.com 080-6045-0763(携帯)
 この活動は神奈川県社会福祉協議会や相模原市社会福祉協議会などから助成金を受け実施しています。



学生ボランティア連合代表
 関東学院大学の中野さん



横浜市立大学



横浜市社協



川崎市社協



横須賀市役所



相模原市役所

地域のフードバンクに寄せられた ありがとうの声

ありがとうの声

お米を頂けるようになってから、炊飯器の中にご飯がある状態になりました。子どもはそれがうれしくて、しょっちゅう炊飯器を開けて確認しています。子どもの笑顔も見れるようになりました。ありがとうございました

いろいろな食べ物を頂けているので、食べ物レパートリーが増えました。子どもも毎回「これ何？」と聞きながら食べています。学校で恥ずかしい思いをすることも少なくなってきたようです。

子どもに朝ご飯を食べさせることができるようになりました。それまでは朝は食べずに、給食まで我慢していました。ありがとうございました。

中学生の子どもにおにぎりだけですが、お昼ごはんを持たせてあげられるようになりました。それまでは保健室に行ったりトイレに行ったりとしていたそうです。子どもも毎日嬉しそうに学校に行くようになりました。

果物や野菜など新鮮な物を頂くことが出来ています。特に果物やお菓子などは買うこともできないのでとてもありがたいとおもっています。

運動会の際にお弁当を作ってもっていきました。いつもより多いおにぎりやおかず子ども達は大喜びでした。私も楽しい時間を過ごせました。

ごはんを食べさせることができるようになり、子どもが少しですがふっくらとしてきて子どもらしくなってきました。とてもうれしい出来事です。

フードバンクかながわにおける課題

- 昨年度の取扱量(365トン)は、現在の保管スペースや運搬能力から限界に近づいています。
- しかし、この取扱量は、神奈川県の商品ロス量の0.1%にも満たない量、また、食支援が必要な方々の一部への支援しかできてない現状にあります。
- ◆ 県内の各地域(市区町村)に地域フードバンク(現在24団体)が設立され、各地域フードバンクと連携をし、取扱量を増やしたいと考えています。
- ◆ お米が不足しています。4月からの4か月間で寄付金にて15トン購入しています。